

(第35期)

貸借対照表

(2020年3月31日現在)

株式会社旭化成アビリティ

科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	(519,569,298)
流 動 資 産	162,268,244	流 動 負 債	426,040,498
現 金 及 び 預 金	52,336,166	買 掛 金	124,416
売 掛 金	5,494,139	未 払 金	1,883,944
商 品	2,745,055	未 払 費 用	376,703,798
貯 蔵 品	6,057,457	未払住民税及び事業税	1,002,500
前 払 費 用	763,525	未 払 消 費 税 等	46,111,300
未 収 入 金	89,180,379	預 り 金	214,540
立 替 金	5,691,523		
固 定 資 産	380,612,595	固 定 負 債	93,528,800
有 形 固 定 資 産	312,112,697	退 職 給 付 引 当 金	93,528,800
建 物	248,785,263		
構 築 物	26,567,293	(純 資 産 の 部)	(23,311,541)
機 械 及 び 装 置	2,852,494	株 主 資 本	23,311,541
車 両 及 び 運 搬 具	3	資 本 金	40,000,000
工 具、器 具 及 び 備 品	33,412,644	資 本 剰 余 金	10,000,000
建 設 仮 勘 定	495,000	資 本 準 備 金	10,000,000
無 形 固 定 資 産	1,701,412	利 益 剰 余 金	-26,688,459
ソ フ ト ウ ェ ア	1,490,401	そ の 他 利 益 剰 余 金	-26,688,459
電 話 加 入 権 等	211,011	繰 越 利 益 剰 余 金	-26,688,459
投 資 そ の 他 の 資 産	66,798,486		
長 期 前 払 費 用	767,542		
繰 延 税 金 資 産	65,980,944		
差 入 保 証 金	50,000		
資 産 合 計	542,880,839	負 債 ・ 純 資 産 合 計	542,880,839

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産（リース資産を除く）……定額法
- (2) 無形固定資産（リース資産を除く）
 - ……ソフトウェア（自社利用）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法
 - ……その他の無形固定資産は定額法
- (3) リース資産 ……所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法
なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が2008年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2. 引当金の計上基準

- (1) 退職給付引当金……従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上している。

3. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

- (1) 消費税等の会計処理方法
消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。
- (2) 連結納税制度の適用
連結納税制度を適用している。
- (3) 連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用
当社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針28号）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいている。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

- 1. 当事業年度の末日における発行済株式の総数
普通株式 600 株
- 2. 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項
2019年6月24日開催の株主総会において、次のとおり決議している。
普通株式の配当に関する事項
 - (イ) 配当金の総額 6,000,000円
 - (ロ) 配当の原資 利益剰余金
 - (ハ) 1株当たり配当額 10,000円
 - (ニ) 基準日 2019年3月31日
 - (ホ) 効力発生日 2019年6月25日